

農林水産物に含まれる放射性物質の濃度水準は低下しています。

- 農畜産物に含まれる放射性物質の濃度水準は低くなっており、28年度は基準値を超過するものはない。
- きのこと山菜類、水産物では、基準値を超過したものが見られるが、超過割合は減少。

農林水産物の放射性物質の検査結果^{注1}(17都県^{注2}) (平成30年3月30日現在)

品目	～23年度末 基準値 超過割合 ^{注3}	24年度 基準値 超過割合 ^{注4}	25年度 基準値 超過割合 ^{注4}	26年度 基準値 超過割合 ^{注4}	27年度 ^{注4}		28年度(～平成30年3月30日) ^{注4}		基準値超過品目
					基準値 超過割合	基準値超過点数 (検査点数)	基準値 超過割合	基準値超過点数 (検査点数)	28年度 (27年度)
農 畜 産 物	米 ^{注5}	2.2 %	0.0008 %	0.0003 %	0.00002 %	0 % (1,050万)	0 % (1,027万)	0 (1,027万)	—
	麦	4.8 %	0 %	0 %	0 %	0 % (323)	0 % (239)	0 (239)	—
	豆類	2.3 %	1.1 %	0.4 %	0.1 %	0 % (1,813)	0 % (957)	0 (957)	—
	野菜類	3.0 %	0.03 %	0 %	0 %	0 % (12,205)	0 % (10,810)	0 (10,810)	—
	果実類	7.7 %	0.3 %	0 %	0 %	0 % (2,783)	0 % (2,155)	0 (2,155)	—
	茶 ^{注6}	8.6 %	1.5 %	0 %	0 %	0 % (127)	0 % (102)	0 (102)	—
	その他 地域特産物	3.2 %	0.5 %	0 %	0 %	0.1 % (723)	0 % (480)	0 (480)	— (そば)
	原乳	0.4 %	0 %	0 %	0 %	0 % (1,414)	0 % (1,420)	0 (1,420)	—
	肉・卵 (野生鳥獣肉除く)	1.3 %	0.005 %	0 %	0 %	0 % (225,911)	0 % (212,086)	0 (212,086)	—
きのこ・山菜類	20 %	9.2 %	2.6 %	1.2 %	1.0 % (8,433)	0.7 % (9,241)	69 (9,241)	コシアブラ、タラノメ等9品目 (フキノトウ、タラノメ等13品目)	
水産物	17 %	5.6 %	1.5 %	0.5 %	0.07 % (18,801)	0.06 % (18,166)	11 (18,166)	イワナ、ヤマメ等5品目 (イワナ、ギンブナ等6品目)	
農林水産物計	3.4 %	0.02 %	0.005 %	0.002 %	0.001 % (1,077万)	0.001 % (1,052万)	80 (1,052万)	検査総数 ～23年度末: 139,376点、 24年度: 1,059万点、25年度: 1,130万点、 26年度検査点数: 1,126万点	

(注1)厚生労働省及び自治体等が公表したデータに基づき作成。

(注2)「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」(原子力災害対策本部決定)で対象自治体としている17都県。ただし、水産物については全国を集計。

(注3)平成24年4月施行の基準値(100 Bq/kg)を超過した割合(原乳については50 Bq/kg)。なお、茶は、荒茶や製茶の状態では500 Bq/kgを超過した割合。

(注4)穀類(米、大豆等)について、生産年度と検査年度が異なる場合は、生産年度の結果に含めている。

(注5)福島県で行った23年度産の緊急調査、福島県及び宮城県の一部地域で24年度以降に行った全袋検査の点数を含む。

(注6)24年度以降の茶は、飲料水の基準値(10 Bq/kg)が適用される緑茶のみ計上。